



西中学校だより

令和3年 1月 8日
東久留米市立西中学校

電子版

3学期始業式 校長講話

校長 藪野 勝久

今を生きるという事

新年、あけましておめでとうございます。

3学期が始まり、いつもの活気あふれる西中学校が戻っています。どの学年も落ち着いた態度で始業式を迎えることができました。これもいつもご理解とご協力いただいております地域、保護者の皆さまのお陰と感謝申し上げます。

今年の始業式は、1月7日に政府より1都3県体育館に緊急事態宣言が再発令され、これに伴う本市の指示に従い、全生徒が一同に会することを避け、各教室で実施いたしました。

その際、校長講話として各担任が代読した文章を、Web サイト用として掲載いたします。ご一読いただければ幸いです。

以下、校長講話 ー今を生きるということー

○改めまして、皆さん、あけましておめでとうございます。

○第3学期が始まる今日、皆さんの元気な姿を見ずに来年度のゼロ学期である年頭の挨拶ができないのは残念でなりません。しかし、このコロナ禍の渦中であって、致し方ないことだとも思います。

○今後、益々人間に害を与える多くの新種ウイルスや変異したウイルスの出現も予測されています。こうした状況がこの先何年も続けば――多分続くと考えておいたほうが良いと思うのですが、自分の未来に希望が持てず、不安ばかりが頭を巡らし、生きる意味を見失ってしまいそうになる人が必ず増えてくるのではないのか、そういう、未来に対する心配の声も多いと聞きます。言い直せば、その時をどう生きればいいのかという問いです。

○ユダヤ人であったビクトール・フランクルという精神科医がいました。彼は第二次世界大戦中、4つの強制収容所（担任解説）に収監され、どんなに努力しても、どんなに皆で協力しても、その辛い状況、正に生き地獄の状況（担任解説）の中であって、尚、生き延びることができました。そして、その生き地獄の体験と、生き延びるためのものの見方考え方を1冊の「夜と霧」という本にまとめ、戦後、生きる意味を見失ってしまった人々に力強い勇気と希望を与えました。

○これから先皆さんが、どう生きていけばいいのか解らない、辛くて仕方のない、耐えがたい状況に身を置くことも、残念ながら長い人生の中できっとあるかもしれません。そこでこのフランクルの、ものの見方考え方に少し触れ、皆さんが勇気をもってその時を生きる人になってほしい、力強く人生を歩める人になってほしいという思いを込めてお話しします。

○よく人は、「こんな人生なんて何の意味があるのだ」といった、自分の人生に問いを投げかけることがあります。「これからの未来にどんな期待が持てるのだろうか」と。でも、フランクルは、その間、つま

り、人生に対して問う態度は正しくない、と言います。むしろ、私たちが人生から「君はこれからどうするのだ」と、期待され、問われる存在なのだと捉えなさい、と言うのです。つまり、人間は人生から問われる存在であって、その問いに答えなければいけないというのです。どんな逆境、たとえどんなにちっぽけな逆境にあっても、「もう耐えられない」などと弱音を吐いてこの状況を否定するのではなく、人生を肯定し、前に進もうとする姿勢が必要なのだ、と言うのです。(担任解説)

○身近な例で言えば、新型コロナウイルスによってこの世の中の人々は様々な苦境に立たされています。そんな中、生きる、と言うことに、もう嫌気がさしている人も多いのではないのでしょうか。飲食店の皆さん、生産者、運搬業者、観光業者や旅行業者、そして医療従事者など、世界中が、明日おも知れぬ不安、「コロナウイルスはいつなくなるの？本当に無くなって、以前のようにマスクをしなくても外出できるときが本当に戻ってくるの？じゃー、それはいつなの？」といった、出口の見えない絶望の中に在ります。

○そんな中に立たされた人々に対してフランクルはこう言います。「生きるということは自分に課せられた使命に対し責任をもって全うすることなのだ。」と。

つまり、せつかく天から頂いた命を全うするという使命、親から託された期待に対する使命、まだ見ぬあなたの助けを待っている人(担任解説)に対する使命、自分では気付いていないけど正に今皆さんを頼りにしている人に対する使命等々、様々な皆さんに課せられた使命があるはず。「私には関係ない」とは言えないその使命に対して、皆さんには責任があるというのです。そしてその責任を果たしなさい、それが生きるということなのです、ということです。(担任解説)

○こうした見方考え方に達するためには、人生の先に待っていてくれるものがあることを信じること、これが必要だとフランクルは言います。それは、自分の未来に対して、今のあなたが責任を感じることなのだ、ということなのです。

○あなたは今、未来の自分に対して責任を感じていますか？

将来あなたを愛する人がいるかも知れない。将来あなたには家族がいて、子供がいるかも知れない。あなたがいて助けられる人がいるかもしれない。あなたの行う仕事で多くの人が幸せになるかもしれない。そんな、今考えれば他人のような未来の自分に対して責任を感じていますか？

○今を生きるとは、そういう未来の自分に対して責任を果たそうとする行為なのです。だから決して辛く苦しいときに自暴自棄になったり、「べつにもーいや」などと言ったりしない、しっかりとした今を生きる態度を身につけて行ってほしいと願い、お話ししました。

◎ 人生から「君はこれからどうするのだ」と、期待され、問われる存在なのだと捉えること。

◎ 生きるということは自分に課せられた使命に対し責任をもって全うすること。

◎ 人生の先に待っていてくれるものがあることを信じること。

◎ そんな自分の未来に対して、今のあなたが責任を感じる

○これらのお話中で少しでも、一つでも理解できたことがある事を願って、お話を終わります。